

Ⅱ-3 <入学試験制度> 博士前期／修士課程：一般入学試験

一般入学試験は、第Ⅰ期～第Ⅲ期にわたって実施しています。それぞれ対象が異なりますので、次頁で確認してください。

1. 出願資格

- (1) 大学を卒業した者、または 2019 年 8 月末までに卒業見込みの者。
- (2) 学校教育法第 104 条第 4 項の規定により学士の学位を授与された者。
- (3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了または 2019 年 8 月末までに修了見込みの者。
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者。
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者。
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者。
- (7) 文部科学大臣の指定した者。
- (8) 大学に 3 年以上在学し、又は外国において学校教育における 15 年の課程を修了し、当該研究科委員会において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認められた者。
- (9) 当該研究科委員会において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2019 年 8 月末までに 22 歳に達した者。

※(4)から(9)の資格により出願を希望する者について

- ①出願時に資格審査を行います。
- ②所定の出願書類に加えて「出願資格認定申請書」(G票)、「出願資格認定申請理由書」(H票)を提出して下さい。

※出願ができる外国人受験者の定義について

- ①日本国籍を有しない者であって、かつ、日本国における永住資格を有しない者。
- ②出入国管理及び難民認定法において、本学入学に支障のない在留資格を有する者。

2. 日程一覧

< 2019年秋学期（9月）入学入試日程 >

【一般入学試験 秋学期（9月）入学 第Ⅰ期】

対 象	文学研究科 国際言語教育専攻 英語教育専修
試 験 日	2019年1月14日(月)
出願期間	2018年11月5日(月)～11月16日(金)
合格発表	2019年1月18日(金) 11:00
第1次手続期間	2019年2月18日(月)～2月25日(月)
第2次手続期間	2019年7月19日(金)～7月26日(金)

※試験日1週間前までに大学より通知があった方のみ試験日に面接を実施します。

【一般入学試験 秋学期（9月）入学 第Ⅱ期】

対 象	・経済学研究科 経済学専攻 国際ビジネス専修 ・文学研究科 国際言語教育専攻 日本語教育専修
試 験 日	2019年2月11日(月)
出願期間	2018年12月12日(水)～2019年1月7日(月)
合格発表	2019年2月15日(金) 11:00
第1次手続期間	2019年2月18日(月)～2月25日(月)
第2次手続期間	2019年7月19日(金)～7月26日(金)

【一般入学試験 秋学期（9月）入学 第Ⅲ期】

対 象	・経済学研究科 経済学専攻 国際ビジネス専修 ・文学研究科 国際言語教育専攻 日本語教育専修 ・文学研究科 国際言語教育専攻 英語教育専修
試 験 日	2019年5月18日(土)
出願期間	2019年4月5日(金)～4月12日(金)
合格発表	2019年5月24日(金) 11:00
第1次手続期間	2019年5月29日(水)～6月6日(木)
第2次手続期間	2019年7月19日(金)～7月26日(金)

※文学研究科国際言語教育専攻英語教育専修は、試験日1週間前までに大学より通知があった方のみ試験日に面接を実施します。

3. 出願書類・検定料

(1) 入学願書	本学所定の用紙（A票①②・B票）を使用すること。
(2) 受験票・写真カード	本学所定の用紙（C票・D票）を使用すること。
(3) 成績証明書	出身大学で申請すること。 （本学在学学生は証明書自動発行機で発行ができます）
(4) 卒業（見込）証明書	出身大学で申請すること。 （本学在学学生は証明書自動発行機で発行ができます）
(5) 受験票送付封筒（定型長3封筒）	住所・氏名明記、362円分の切手を貼付すること。
(6) 合格者一覧送付封筒（定型長3封筒）	(6)と同様。（※送付を希望する場合のみ各自で用意）
(7) 検定料	33,000円。 振込用紙J票を使用し、銀行で振り込むこと。 振込金受領書[控]を、出願時に提出すること。

※ A票②の「修士論文題目」の欄は記入しなくてよい。

※ 出願書類の記入方法について

・ 入学願書（A票①）の「受験科目」

⇒ 受験する科目名（選択の場合は、選択する科目名）を記入してください。

※ 国際言語教育専攻英語教育専修の出願者は、A票を全て英語で記入してください。
尚、B票の提出は不要です。

〔経済学研究科経済学専攻「国際ビジネス専修」出願者へ〕 ※必須事項

- 出願時に TOEFL-iBT80+または、IELTS6.0+以上のスコアを添付してください。
- なお、英語を母語とする受験者は「高校、大学の卒業証明書」を提出すること。

〔国際言語教育専攻 英語教育専修出願者へ〕 ※必須事項

- 本人が作成した英語によるエッセイを出願書類として添付すること。テーマ等は以下の通り。
 - テーマ：How does this program help you achieve your overall professional goals as a language educator?
 - 分量：A4で4ページ以内。ダブルスペース（行間2行）とする。
 ※ 詳細は下記参照。
- Letters of Recommendation（2通）
 - ※フォーマットは下記ウェブページよりダウンロードしてください。
<http://daigakuin.soka.ac.jp/tesol/app-forms.html>
 - ※ 詳細は次頁参照。
- 英語能力証明書類（TOEFL-iBT もしくは IELTS。2年以内のもの）を出願書類として提出すること（コピーで可）。
なお、英語を母語とする方で英語能力証明書類のない方については、「高校、大学の卒業証明書」を添付すること。

上記の英語を母語とする方の考え方は以下の通り。

- 1) 幼少時から英語を習得した。
- 2) 日常生活において英語を主たる言語として使用する。
- 3) 英語の能力が一番優れている。
- 4) 英語において、文法、語彙、発音にわたり、また社会言語学的にも十分な能力を保持している。

International Language Education Program: TESOL - Personal Statement

Please provide a personal statement describing your educational objectives. The personal statement gives you the opportunity to explain your reasons for pursuing graduate study and to express your thoughts clearly in an organized and focused way.

Please answer the following question regarding the Graduate Program in International Language Education: TESOL:

***How does this program help you achieve
your overall professional goals as a language educator?***

You may wish to address:

- why you are applying for the International Language Education (ILE) program;
- how the ILE program will relate to your long-range career objectives;
- what personal or “non-academic” qualities you will contribute to the learning environment in this program;
- what your research interests in language education may be; and / or,
- what personal experiences have influenced your intellectual development and future goals with respect to the ILE program.

The personal statement should:

- include your name and a title;
- not exceed 1,000 words; and
- be typed double spaced (Times New Roman 12).

Please carefully revise and edit your statement as all qualities of good writing including organization, structure, grammar, and spelling will be considered.

International Language Education Program: TESOL – Letters of Recommendation

Two letters of recommendation are requested of each applicant. These two letters should be provided by those able to attest to the applicant's:

- Abilities to successfully complete a rigorous graduate degree in an international context (delivered in an English-medium format); and,
- Potential as a future language educator.

Each letter of recommendation should:

- Include the contact information (email, address and telephone number) of the referee;
- Be completed on the form provided (additional pages can be included by the referee, on official institutional letterhead);
- Must be signed by the referee; and,
- Returned in a sealed envelope, signed across the seal, to the applicant to be included in the package of application materials delivered to the university.

International Language Education Program: TESOL – Interview

Some applicants may be contacted for an interview. Interview requests will be sent one week prior to the requested interview date.

If an applicant is contacted for an interview, the interviews will be held on the Soka University campus in Hachioji, Tokyo, in the Global Square Building, on the specified dates above.

- Soka University administration will notify the applicant of the specific interview time.
- Applicants should plan to arrive a minimum of 20 minutes before their scheduled interview.
- Interview rooms will be announced at the entrance lobby of the Global Square. Building on the interview day.

Applicants living abroad can be interviewed via online technologies. In the case of interviews for applicants living abroad:

- Applicants will be contacted via email prior to the interview in order to organize necessary information (exchange of Skype IDs, etc.).
- It is the sole responsibility of the applicant to ensure that suitable technology is available in their country of residence to perform the interview.
- Video interviews are required in order to verify applicant identity.
- Scheduling of the interview time will be at the discretion of the ILE faculty, but every reasonable effort will be made to take into account time zone differences.

2. 選考試験科目・時間帯

●経済学研究科 経済学専攻

専修名	試験科目			試験時間
	科目群	選択方法	科目名	
国際ビジネス専修	外国語	—	書類審査（英語能力証明書類）	—
	口述試験	—	口述試験（※英語で実施します。）	15：30～

●文学研究科 国際言語教育専攻

専修名	試験科目			試験時間
	科目群	選択方法	科目名	
日本語教育専修	外国語	出願時に選択	日本語を母語とする者は英語、中国語、ハンガール、ドイツ語、フランス語、ロシア語、スペイン語のうちから1言語選択 日本語を母語としない者は日本語（辞書使用不可）	10：30～ 12：00
	専門科目	—	日本語学・日本語教育に関する問題	13：00～ 14：30
	面接	—	面接	15：30～
英語教育専修	書類審査	—	エッセイ・英語能力証明書類・推薦書 ※面接を行うことがある。その場合は、試験日1週間前までに通知する。	—